

知ってナッ^得

みんなの安心

防災安全課 地域安全係 ☎・内線 1262
消防防災係 ☎・内線 1264

消防

気象警報とは何？

6月に入り、雨の日が多い時期を迎えました。降雨の状況によっては重大な災害が発生する恐れがあります。気象庁(台)では大雨警報、洪水警報、暴風警報などの気象警報を発表し、防災支援を行っています。

■大雨警報 大雨による重大な土砂災害や浸水被害が発生する恐れがある場合に発表されます。特に警戒すべき事項が表示され「大雨警報(土砂災害)」または「大雨警報(浸水害)」と発表されます。雨が止んでも重大な土砂災害などの恐れが残っている場合は、警報が継続されます。

■洪水警報 大雨によって下流で生

じる増水や氾濫により重大な洪水害が発生する恐れがあると予想した時に発表されます。

■暴風警報 暴風により重大な災害が発生する恐れがあると予想した時に発表されます。

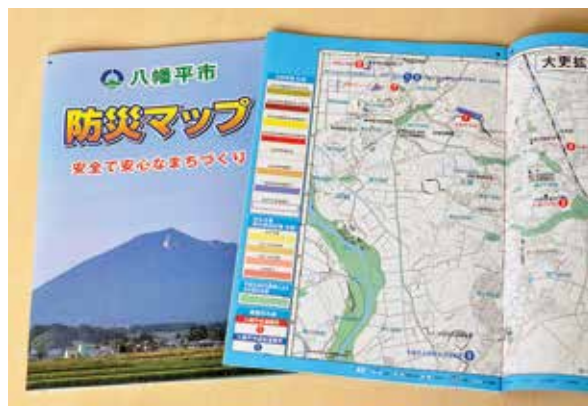
■特別警報 予想される現象が特に異常であるため、重大な災害が発生する恐れが著しく高まっている時に発表されます。台風や台風と同程度の温帯低気圧による集中豪雨、数十年に一度の降雨量となる大雨や暴風が想定される場合は、大雨特別警報、暴風特別警報という形で発表されます。これらの特別警報を見聞きした場合は、命を守る行動を直ちに取ってください。

テレビやラジオなどからの気象情報は、日頃から見聞きするようにし、身の安全を心掛けましょう。

消防

河川の水位などを知るには？

テレビやスマートフォンなどから河川の水位を知ることができ、NHK総合の地上デジタル放送(データ放送)では、安比川の五日市橋付近の水位が確認できます。スマートフォンやパソコンから国土交



危険区域などを確認し、災害に備えましょう

通省ホームページの「川の防災情報」を開くと、安比川のほかに松川の平笠小付近の水位を知ることができ、また、水位の情報以外にも、市内数か所の1時間当たりの降雨量や各種防災情報を知ることができ、早めに状況を確認し、いざという時は避難できるようにしましょう。なお、平成28年12月に全戸配布した「防災マップ」には、土砂災害警戒区域や洪水災害を想定した浸水区域、25年に発生した豪雨による浸水区域などを地図に着色してお知らせしています。自宅周辺で発生しそうな事象を事前に確認し、日頃から防災意識を高めておくことが大切です。

消防

防災用資機材を各地域に配備しています

市内には、各消防団の分団ごとに消火器、ハンドマイク、発電機、投光器、毛布などの防災用資機材を配備しています。それぞれの消防団に管理を依頼し、災害が起こった際には避難所へ運んで使用できるよう備えています。

消防

家庭で準備する非常時用品は？

ご家庭で準備する非常時用品は、飲料水、非常食品、燃料などがあります。災害が復旧されるまでの数日間(最低3日間)を生活できるように備えておくことが安心です。

また、非常時持出品として、携帯ラジオ、救急医療品、貴重品、懐中電灯、火を通さない食べられる非常食品などがあります。家庭でも、いざという時にすぐに持ち出せるよう、日ごろから準備・点検を心掛けましょう。

なお、このことは「防災マップ」の7ページでも詳しく紹介しています。